

航空自衛隊海栗島分屯基地仕様書			
仕様書の種類	内容による分類	役務仕様書	
	性質による分類	個別仕様書	
物品番号	/	仕様書番号	
		海栗島	
品名又は件名	通信ケーブル補修	承認	令和 年 月 日
		作成	令和 3年 1月 日
		改正	令和 年 月 日
			令和 年 月 日
作成部隊等名	第19警戒隊通信小隊		
<p>1 総則</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>本仕様書は、航空自衛隊海栗島分屯基地（以下「部隊」という。）において使用している通信ケーブルの補修について必要な事項を規定する。</p> <p>1.2 用語の定義</p> <p>この仕様書で用いる主な用語の定義は、C&LPS-Y0007による。</p> <p>1.2.1 引用文書等</p> <p>この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。ただし、引用文書の改正があった場合には、その適用について別途協議する。</p> <p>なお、引用文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合にはこの仕様書に定める内容が優先する。</p> <p>1.2.2 引用文書</p> <p>a) 仕様書</p> <p>1) C&LPS-Y0007 調達品等一般共通仕様書</p> <p>2) DSP Z 9008 品質管理等共通仕様書</p> <p>b) 法令等</p> <p>装備品等及び役務の調達実施に関する訓令（昭和49年 防衛庁訓令第4号）</p> <p>2 役務に関する要求</p> <p>役務の実施に当たり、契約相手方は、通信ケーブル補修に必要な事項を実施する。</p> <p>2.1 補修場所</p> <p>補修場所、数量及び修補箇所は、別図1から別図4に示す。</p> <p>2.2 事前調査</p> <p>補修時の作業内容を決めるため、次に示す事項について事前調査を実施することができる。</p>			

- a) 通信ケーブル補修箇所の確認
- b) 通信ケーブルの接続状況の確認
- c) 搬入経路の確認

2. 3 通信ケーブルの補修及び撤去

- a) 通信ケーブルの配線及び接続
- b) 通信ケーブルの配線については、接続の状況に合わせた処置を施す。
- c) 通信ケーブルは、適切なルートで配線すること。
- d) 通信ケーブルは、別図3及び別図4に基づき施工を行うこと。
- e) 通信ケーブルの接続前の導通確認

2. 4 設置後確認

- a) 通信ケーブル接続後の導通確認を行うこと。
- b) 海栗島幹線出力レベルが、通信ケーブル補修以前と同等となることを確認すること。

2. 5 障害発生対処

本作業の実施に係る障害発生時に、迅速な対応がとれること。

3 品質管理

3. 1 品質管理

品質管理は、DSP Z 9008によるものとし、要求事項は、表1のbによる。

3. 2 監督・検査

監督及び検査は、航空自衛隊調達規則に定める実施要領及び本仕様書に基づき実施する。

4 秘密保全

契約相手方は、本件で知り得たいかなる知識、情報についても無断で第三者に漏らしてはならない。また、資料の取り扱い、データの漏洩及び紛失の防止に細心の注意を払い秘密の保全に徹すること。

4. 1 基地内入門、立入禁止区域への立入及び車両の持ち込み

- a) 契約相手方は、基地内の入門に必要な人員について、監督官に通知し、部隊の定めるところにより、許可を得なければならない。
- b) 契約相手方は、立入禁止区域へ立入る必要が生じた場合、「航空自衛隊の立入禁止区域への立入手続等に関する達（昭和57年航空自衛隊達第5号）」その他、部隊の定めるところにより、許可を得なければならない。
- c) 部隊敷地内に車両を持ち込む場合は、部隊の定めるところにより、許可を得なければならない。

5 その他の指示

5. 1 材料・部品

作業に必要な材料・部品は、C&LPS-Y0007の2.2による新品とし、契約相手方が準備するものとする。また、ケーブルの規格及び色は、官側で指定されているものを使用すること。

5. 2 不用品

発生材の処分は、契約相手方の負担とする。

5. 3 耐風圧措置

設置にあたり、必要な耐風圧措置を講ずるものとする。

6 官側における支援

契約相手方は、本契約の履行にあたり必要な場合、次の事項について官側の支援を受けることができる。この場合、速やかに監督官へ申請する。

- a) 官側駐車場の利用
- b) 基地内施設の利用
- c) 構内回線の利用
- d) 施工場所図面の閲覧
- e) 自衛隊が契約する備船の利用（基地入局の場合に限る）
- f) 台車及び官用車の利用（基地内に限る）ただし、官用車の操縦は、部内資格保有の隊員が行うこととし、資材等の積込み、積卸し及び防護措置等は契約相手方が行うものとする。
- g) その他必要と認めるもの。

7 損害保証

本契約の履行にあたって、自衛隊の装備品及び施設等に損害を与えた場合は、契約相手方の責任において、修復するものとする。

8 提出書類

契約相手方は、事前調査後に 8.1 の書類を、役務終了後に 8.2 の書類を監督官に 1 部提出すること。また、課業時間外に作業を行う必要がある場合は、役務実施基地の定める申請を行うこと。

8. 1 通信ケーブル補修工事实施計画書

- a) 実施日時
- b) 作業人員
- c) 作業工程
- d) 作業要領
- e) 立入禁止区域立入許可証
- f) その他必要な事項

8. 2 通信ケーブル補修工事实施報告書

- a) 作業日報
- b) その他必要な事項

9 疑義事項

この仕様書に記載されていない事項及び役務中に疑義が生じた場合には、監督官を通じて契約担当官と協議するものとし、その都度、指示または、承認を受けるものとする。

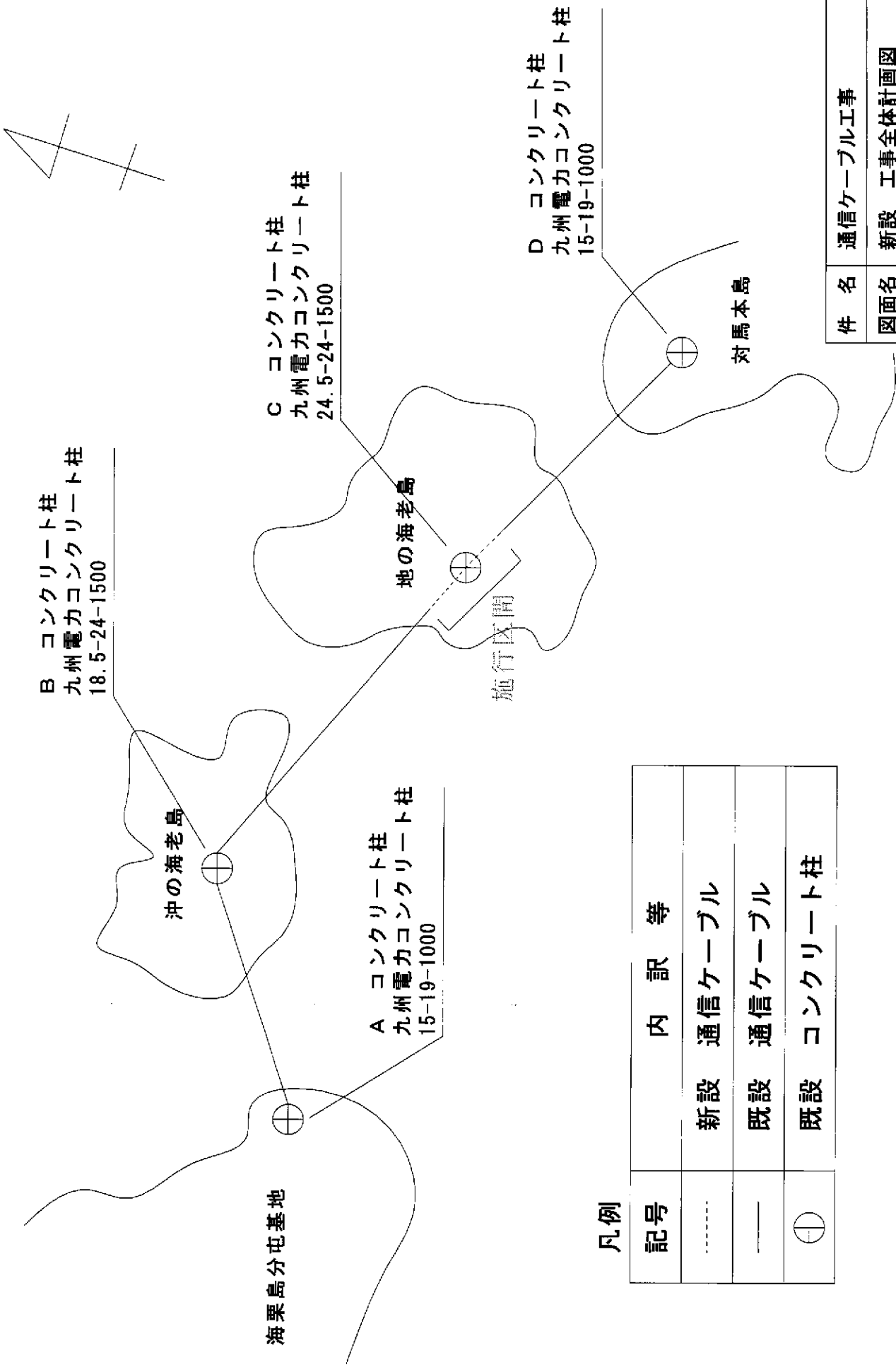
対象復旧物件：通信ケーブル補修工事場所

別図 1



海栗島分屯基地





B コンクリート柱
九州電力コンクリート柱
18.5-24-1500

C コンクリート柱
九州電力コンクリート柱
24.5-24-1500

A コンクリート柱
九州電力コンクリート柱
15-19-1000

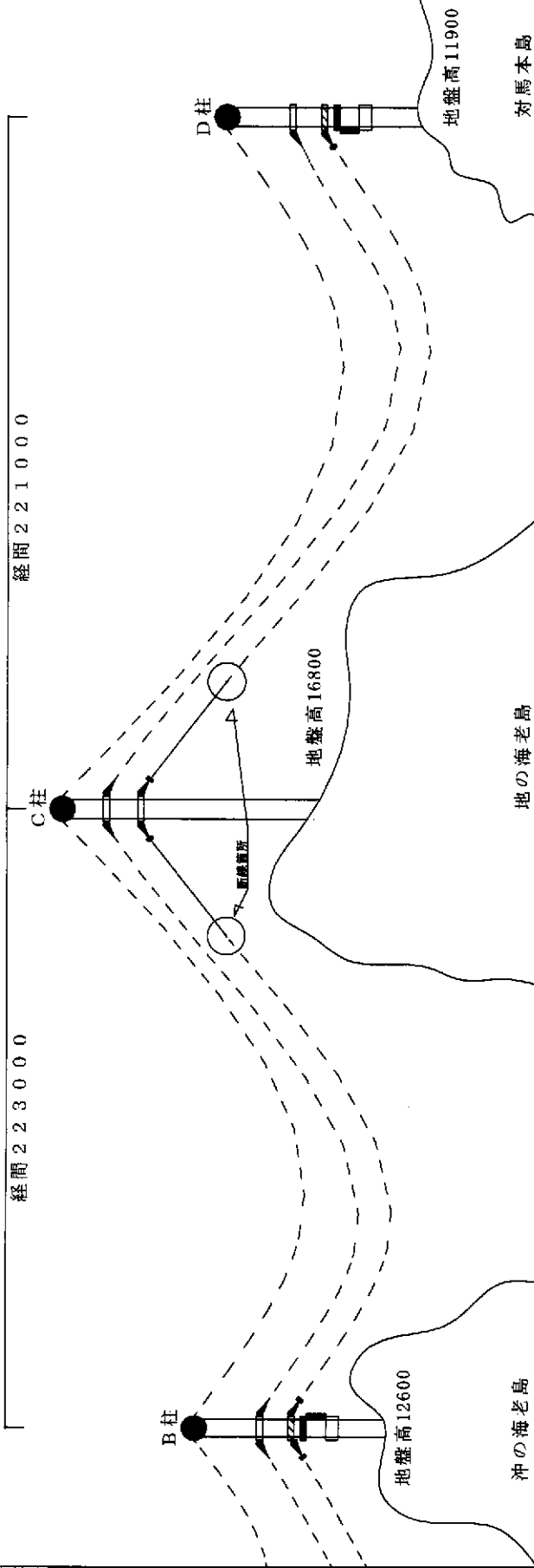
D コンクリート柱
九州電力コンクリート柱
15-19-1000

凡例

記号	内 訳 等
.....	新設 通信ケーブル
—	既設 通信ケーブル
⊕	既設 コンクリート柱

件 名	通信ケーブル工事
図面名	新設 工事全体計画図
縮 尺	N/S
航空自衛隊海栗島分屯基地	

別図3



B柱～C柱 所架線等架設工事

工種	規格	数量	単位	備考
(1) アルミ防食網より線	5.5AW	225		
(2) アルミ防食網より線	3.0AW	224		
(3) 垂直用線	3.0AW	6		
(4) 柱間引線金具		12		
(5) ワイヤークリップ	5.5AW×3.0AW	3		
(6) ワイヤークリップ	3.0AW2重用	12		
(7) ワイヤークリップ	3.0AW3重用	12		

C柱

工種	規格	数量	単位	備考
(1) 垂付クリップ	5.5AW用	2		
(2) 垂付クリップ	3.0AW用	2		
(3) シンプル	丸型18mm	4		
(4) 3号自在バンド	3号E	4		
(5) 属材料	スパイラル、棒り組			

B柱～C柱 通信ケーブル等架設工事

工種	規格	数量	単位	備考
(1) 同軸ケーブル	AF-H75-4	224		
(2) ジョイントハンダ	SHRU-1500-4B	149		

C柱 通信ケーブル等架設工事

工種	規格	数量	単位	備考
(1) 終端クランプ	BHEG-2	2		

C柱～D柱 所架線等架設工事

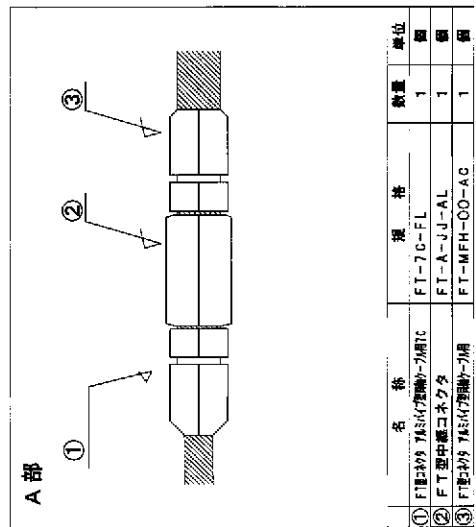
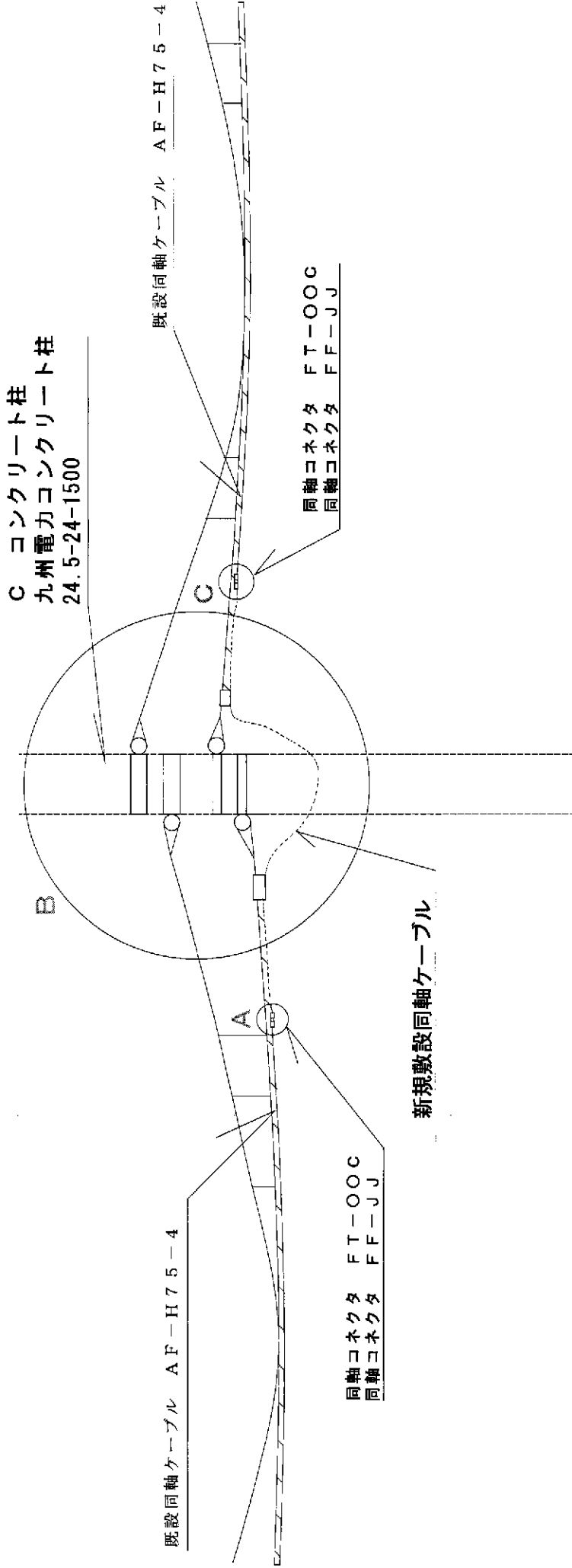
工種	規格	数量	単位	備考
(1) アルミ防食網より線	5.5AW	223		
(2) アルミ防食網より線	3.0AW	223		
(3) 垂直用線	3.0AW			
(4) 柱間引線金具				
(5) ワイヤークリップ	5.5AW×3.0AW			
(6) ワイヤークリップ	3.0AW2重用			
(7) ワイヤークリップ	3.0AW3重用			

C柱～D柱 通信ケーブル等架設工事

工種	規格	数量	単位	備考
(1) 同軸ケーブル	AF-H75-4			
(2) ジョイントハンダ	SHRU-1500-4S			

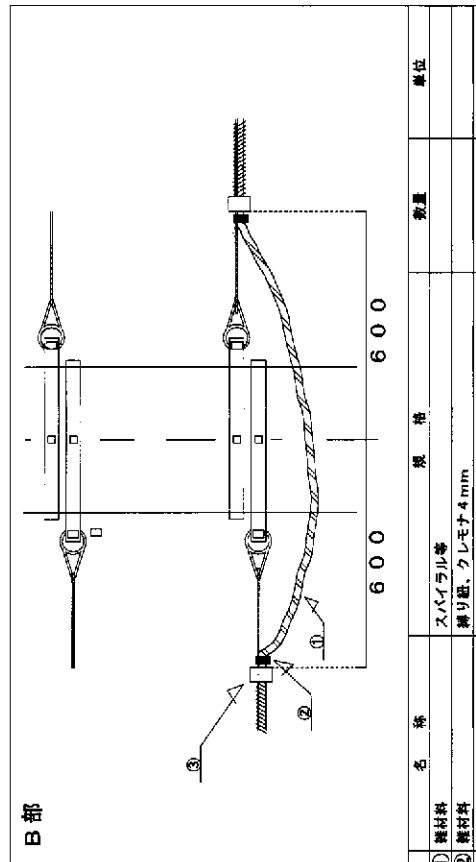
C柱 通信ケーブル等架設工事

工種	規格	数量	単位	備考
(1) 同軸ケーブル	FT-12C			
(2) ジョイントハンダ	S			



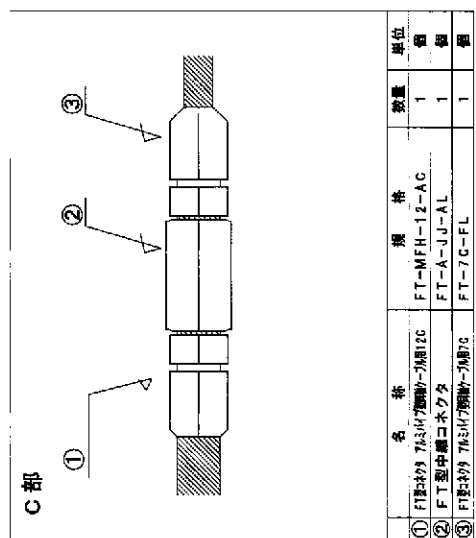
名称	規格	数量	単位
① FT型ケーブル用コネクタ	FT-7C-FL	1	個
② FT型中継コネクタ	FT-A-JJ-AL	1	個
③ FT型ケーブル用コネクタ	FT-MFH-00-AC	1	個

※ コネクタの接続部においては、防水及び塩害の処置をおこなう



名称	規格	数量	単位
① 絶縁材	スライラル等		
② 絶縁材	練り紙、クレモナ4mm		
③ 絶縁材	BHEG-2	2	個

※ 修復工事において、ケーブル等の緩衝の恐れがある箇所には保護等の処置をおこなうものとする



名称	規格	数量	単位
① FT型ケーブル用コネクタ	FT-MFH-12-AC	1	個
② FT型中継コネクタ	FT-A-JJ-AL	1	個
③ FT型ケーブル用コネクタ	FT-7C-FL	1	個

※ コネクタの接続部においては、防水及び塩害の処置をおこなう